

【参考資料】「2025年の日本の学びとMOOCを考える」

< 検討会概要 >

日時:2016年6月21日(火)、6月30日(木)、7月12日(火)、7月28日(木) 全4回

使用手法:「シナリオ・プランニング」、「ワールドカフェ」

参加者:三菱総合研究所研究員、JMOC 関連企業、JMOC 学習者、大学教員等 約30名

< 検討手順 >

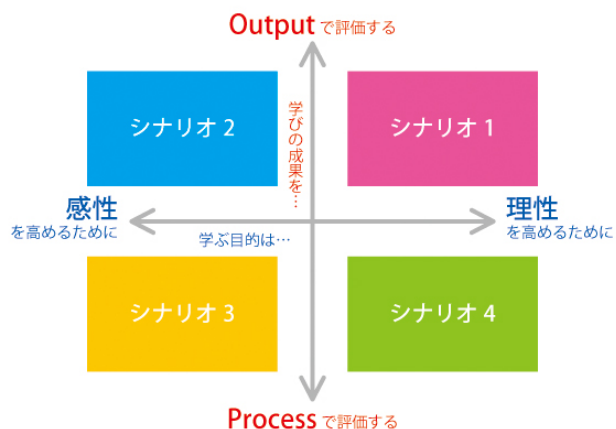
- 1、今後の日本における「学び」「MOOC」に影響を及ぼす要因で肝となる「注目」要因を選び出す
- 2、2025年の「学び」の世界を変える2軸を設定(→4つの象限を設定)、各象限での学びの姿、実現するための条件を検討
- 3、4つの象限における主な「学びの人物像」「社会像」を想定しつつ「MOOCのサービス像」を描く

< 設定軸と4象限 >

- 1、2025年の「学び」の世界を変える2軸とそれぞれの方向性

- ・軸「学びの目的」：方向性「感性」と「理性」
→今後、人間にしかできないこと＝「感性」を磨く教育が必要とされる可能性が出てくることにより、「感性」と相対する「理性」にて方向性を設定
- ・軸「学びの成果の評価」：方向性「アウトプット」と「プロセス」
→今後、学習歴が蓄積されていくだろうことから、かつての「アウトプット」評価だけではなく、「プロセス」評価が考えられるため、2つを方向性として設定

- 2、2軸によって生じた4象限(シナリオ)



< 各象限(シナリオ) >

- ・シナリオ 1:「理性+アウトプット」
- ・シナリオ 2:「感性+アウトプット」
- ・シナリオ 3:「感性+プロセス」
- ・シナリオ 4:「理性+プロセス」

<各象限から導き出された MOOC の方向性>

各象限で考えられた MOOC の方向性およびそれらを実現するための運用条件等を検討した。

シナリオ	MOOC の方向性	概要	資金調達方法	提供価値	必要な技術
シナリオ 1 「理性+ アウトプット」	ビジネス志向 MOOC	<ul style="list-style-type: none"> 学生、社会人向けのビジネスに役に立つコンテンツ提供 転職希望者、子育て期、シニア向けにビジネスに役に立つコンテンツ提供 	<ul style="list-style-type: none"> 修了証 企業との連携、協賛 	<ul style="list-style-type: none"> 実務能力アップ、キャリア形成 	<ul style="list-style-type: none"> 履歴評価 テスト作成、採点
シナリオ 2 「感性+ アウトプット」	起業家促進 MOOC	<ul style="list-style-type: none"> コンテスト形式を主流とし、様々なテーマについて提案、ブラッシュアップしていく仕組み テーマに関する知識を適宜受講可能 	<ul style="list-style-type: none"> 成功報酬 	<ul style="list-style-type: none"> 能力の確認／活かすための支援 	<ul style="list-style-type: none"> 投票技術
シナリオ 3 「感性+ プロセス」	好縁仲立ち MOOC	<ul style="list-style-type: none"> 好きなテーマを対象に誰もが講師になれ、当該テーマに興味のある人を対象に講義を展開 	<ul style="list-style-type: none"> 講師になる人から課金 繋がりを促進するツールに課金 	<ul style="list-style-type: none"> 価値観の合う人との繋がり確保 	<ul style="list-style-type: none"> 好縁者の囲い込み
シナリオ 4 「理性+ プロセス」	自分探し MOOC	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目標を設定し、その目標達成のために必要な講座を履修／管理 成績は本人の許諾があれば企業に発信 	<ul style="list-style-type: none"> 企業への紹介料 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の再発見/研鑽 	<ul style="list-style-type: none"> モチベーション維持 ポートフォリオ管理

<各象限の具体的な MOOC サービス像と社会条件>

● シナリオ 1「理性+アウトプット」

グローバル化、標準化が進み、今同様、学歴や資格が重視され、現代の詰め込み教育の延長線上の社会。なお、ツールの発達によって学びが効率化し、公正で客観的な評価が成立することも考えられ、ビジネス志向の強い MOOC が考え出された。

シナリオ 1			
タイトル	「最先端知識技術を学ぶ MOOC」	「失業者/転職希望者のスキル取得支援 MOOC」	「通学しなくてキャリアアップ MOOC」
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 定型化に至っていない知識・技術を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 転職希望者、失業者への就職のためのスキル獲得を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 外出がままならない人が通学しなくてキャリアアップできる
内容	<ul style="list-style-type: none"> 誰に：イノベータ志望者、企業 どうやって：オンライン 	<ul style="list-style-type: none"> 各企業で必要とされるスキルマップをもとに、需要の高いスキルを学ぶ講座を提供する。 採用企業は修了証、受講履歴を参考にして採用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰に：子育てや介護に携わっている人
価値	<ul style="list-style-type: none"> 早さ 希少価値 	<ul style="list-style-type: none"> 転職希望者・失業者：再就職のチャンスが広がる。 シルバー人材の活用 ニートにチャンスを与える。 採用企業：求める人材のスクリーニングに使える。 転職エージェント：客観的指標により、候補者と採用企業のマッチング可能、成約率アップ 	<ul style="list-style-type: none"> 外出しなくても学ぶことが可能 ガッツリ学士や修士を目指すことも可能 (例：放送大学) 興味のある、自分のキャリアに向けた科目だけ受講、修了証を揃えることも可能
仕組み	<ul style="list-style-type: none"> 受講料、マッチング 	<ul style="list-style-type: none"> 転職エージェントやハローワーク、厚生労働省、採用企業と提携 	
社会条件	<ul style="list-style-type: none"> 安定的拡大経済 グローバル化の進展 現在の延長線上の働き方 (業績、学歴、資格等重視) 		

● シナリオ 3 「感性+プロセス」

今後、高齢化が進み、人との繋がりや地域・伝統が見直され、小さなコミュニティが重視されるようになる社会。その中において、個々人の知識を周囲に還元することが求められるだろうことにより、誰もが「先生」になれる MOOC や繋がりを求めるための MOOC が考え出された。

シナリオ 3			
タイトル	「非学習型 MOOC」 (Learning Experiences)	「新人パパママ MOOC」	「じじばばケア MOOC」
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・日常とは違う刺激(出会い) ・知識・人/その人にあったコンテンツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのノウハウや How to が詰まった MOOC ・スタンプ制、テストもあり、ママはパパに受けさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護のノウハウや How to が詰まった MOOC
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者：脳が疲れている人 ・サービス形態：つまみ食い、出会いの場 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の病気 ・良い子を育てるには ・ママパパ出産準備 ・ライブプラン ・叱りのロールプレイ ・子供の自我との向き合い ・親自身のメンタルケア ・学習障害児子育てロールプレイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種手続き紹介 (デイケア、老人ホーム、ショートステイ等) ・違いを知り、選ぶノウハウ ・ロールプレイ (痴呆、徘徊) ・終活への誘い方 ・介護の疲れを防ぐために
価値	—	<ul style="list-style-type: none"> ・本などとの違い ・体系立っている、テストできる ・顔が見て学べるけど、いつでもどこでも ・MOOC パパママ café 	<ul style="list-style-type: none"> ・突然の出来事に即座に答えられる
仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・オフ会 (会費制) ・記録を残す 	<ul style="list-style-type: none"> ・区町村に販売 ・EC サイトとのリンク 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームでボランティア実習 ・有料実習
社会条件	<ul style="list-style-type: none"> ・経済停滞 ・内向き化、繋がり重視 ・高齢化の影響大 		

● シナリオ 2 「感性＋アウトプット」

経済衰退の方向性にある社会。個性や才能が重視され、イノベーションが求められる社会となる。企業側も人間力・感性が優れた人材を採用する傾向が強くなると考えられる。個性が最大限活かされ、イノベーションが重んじられる、起業家を発掘するような MOOC が考え出された。

● シナリオ 4 「理性＋アウトプット」

経済が安定的に拡大する社会。雇用流動化の進展が考えられる。学習意欲のある努力家タイプが評価されるようになる。このような社会では、自主性が重視される、自分探しをするような MOOC が考え出された。

タイトル	シナリオ 2	シナリオ 4
	「才能発掘コンテスト MOOC」	「FD コンサル MOOC」
特徴	・感性を評価する	・大学教員の教育能力を高める実践的方法、取り組みへのコンサル
内容	・MOOC で勉強 (ex.小説、デザイン、音楽) したもののうち、例えばロゴやデザインを募集する ・応募物を評価し、企業に提供	・誰に：大学に ・何を：授業改善サポート コンテンツ作成 学習データ解析 ・どうやって：個別対応
価値	－	・授業の質向上、コスト削減
仕組み	・採用した企業、組織から対価を得る	・コンサルフィー
社会条件	・経済危機 ・個性重視社会 ・企業促進、副業解禁	・安定的拡大経済 ・雇用流動化、副業解禁 ・自主性重視

<まとめ>

Edtech、AI の発展がめまぐるしい現代、教育環境が変化し、教育のあり方が問われ、企業のみならず行政もオンライン教育の可能性をさぐりつつある。

また、学びに対するニーズが大きく変化することが予想されるなか、本検討を通じて、MOOC は社会的に大きな役割を果たせるとともに、MOOC の特徴である「いつでもどこでもだれでも学ぶことができる」「コミュニティで学ぶことができる」という特徴が大きく活かされる可能性があることを確認できた。

日本においては、未だ MOOC の良さおよび認知自体が十分浸透していないところもあるため、今後一層普及啓蒙につとめるとともに、良質なコンテンツ開発に努めていきたい。